

《平成29年度 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の実施状況》

区分	事業の名称	平成29年度に実施した事業内容	計画策定時(平成27年)における 平成29年度必要量と確保数		平成28年度の実績 (平成29年3月末現在)	平成29年度の実績 (平成30年3月末現在)	平成30年度の実施予定及び 今後の取り組み	担当課
			必要量	確保数				
教育・保育	1. 教育(1号認定)3歳児 (幼稚園・こども園で教育を希望する3歳児)	◆4月開園 ・プレーメン実花こども園(定員60名) ・みのりつくしこども園(定員60名)	938人	525人	525人	565人	◆大久保保育所と新栄幼稚園を再編した、(仮称)大久保こども園を整備するため、大久保保育所に増築棟を建設します(平成29年度～平成30年度)。 ◆秋津幼稚園と香澄幼稚園を再編した、(仮称)第七中学校区こども園を整備するため、改修工事を実施します。	こども政策課
	2. 教育(1号認定)4・5歳児 (幼稚園・こども園で教育を希望する4・5歳児)	◆大久保保育所と新栄幼稚園を再編した、(仮称)大久保こども園を整備するため、大久保保育所に増築棟を建設します(平成29年度～平成30年度)。	1,928人	3,205人	3,385人	3,185人		こども政策課
	3. 保育(2号・3号認定) (保育所・こども園等で保育を希望する0～5歳児)	◆開園施設 ①4月開園 ・プレーメン実花こども園(定員112名) ・みのりつくしこども園(2号認定定員63名) ※0歳児から2歳児(3号認定定員42名)の受入は、平成29年7月1日開始。 ②6月開園 ・小規模保育事業所 ひまわり保育園3rd(定員18名) ③7月開園 ・民間認可保育所 そらまめ保育園かなでの杜(定員150名) ④10月開園 ・民間認可保育所 プレーメン津田沼保育園(定員50名) ⑤11月開園 ・サンライズキッズ保育園奏の杜園(定員18名) ・サンライズキッズ保育園津田沼園(定員19名) ◆定員変更施設 ①6月変更 ・明德そでのにの保育園の全面改築による定員増(20名増) 新定員110名(旧定員90名) ◆本大久保保育所を私立化するため、公募により、移管先法人を選考しました。 移管先法人:学校法人正良学園	3,175人	3,127人	2,671人	3,088人	◆開園施設 ①4月開園 ・菊田みのり保育園(定員171名) ②10月開園予定 ・第一中学校区小規模保育事業所(公募定員19名) ・第一中学校区小規模保育事業所(公募定員19名) ◆定員変更施設 ①4月変更 ・プレーメン津田沼保育園定員増(99名増) 新定員149名(旧定員50名)	こども政策課
地域子ども・子育て支援事業	1. 時間外保育(延長保育)事業	◆私立こども園2園、私立保育所9園および小規模保育事業所6か所で実施する当該事業に補助を行いました。	1,646人	1,646人	1,887人	2,262人	◆平成29年度の既存保育施設29か所に加え30年度開設の私立保育所1園および小規模保育事業所3か所で実施予定の当該事業に補助を行います。	こども保育課
	2. 放課後児童健全育成事業 (放課後児童会)	◆平成29年度は、谷津児童会の余裕教室を活用した施設整備に取り組みました。	1,745人	1,745人	1,592人	1,616人	◆平成30年4月に、大規模化している児童会を分割し、余裕教室を借用して、新たに谷津第3・谷津南第2・屋敷第2児童会を設置しました。また、平成30年度中に鷺沼児童会の施設整備に取り組みます。 ◆平成31年度へ向けて、職員確保を主なねらいとして、大久保東児童会、藤崎第1・藤崎第2児童会の民間委託準備を取り組みます。 ◆平成32年度4月開設を目途に、谷津南児童会脇に新たに、(仮称)新・谷津南第2・第3児童会の施設整備に取り組みます。 ◆入会児童数の推移に注視し、職員確保及び施設整備に取り組みます。	児童育成課
	3. 地域子育て支援拠点事業	◆こどもセンター等連絡会議を開催し、こどもセンター(鷺沼)、こども園こどもセンター(東習志野、杉の子、袖ヶ浦)やきらっ子ルーム(やつ、おおくぼ)との情報共有、連携により事業を実施しました。 ◆子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)をすべてのこどもセンターときらっ子ルームに配置し、子育て家庭のニーズに応えた相談受け付けや情報提供を行いました。 ◆乳幼児専用プレーパークが平成30年度より本格実施することに向け、夏・秋・冬に1日体験プレーパークを開催するとともに、利用者向けの講演会を行いました。	7か所	6か所	6か所 (98,701人 延べ数)	6か所 (108,012人 延べ数)	◆平成31年度開園予定の(仮称)大久保こども園と(仮称)第七中学校区こども園でのこどもセンターの開設に向けて、計画的に準備を進める。 ◆引き続き、こどもセンター・きらっ子ルーム職員全員を「子育て支援コンシェルジュ」として配置し、子どもに関する相談を受けるとともに、子育てに関する情報提供を行うことで、より身近な場所での子育て支援に努めます。 ◆習志野市こどもセンター(鷺沼)において開設する乳幼児専用プレーパークについて周知を行い、子どもがのびのびと外遊びができる環境づくりに努めます。	こども保育課 子育て支援課
	4. 一時預かり事業 (幼稚園在園児による利用分)	◆市立幼稚園9園・こども園3園において実施するほか、私立こども園2園で実施する当該事業に補助を行いました。	54,052人 (延べ数)	53,546人 (延べ数)	19,374人 (延べ数)	14,863人 (延べ数)	◆引き続き、市立幼稚園9園・こども園3園において実施するほか、私立こども園2園で実施する当該事業については補助を行います。	こども保育課

《平成29年度 教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の実施状況》

区分	事業の名称	平成29年度に実施した事業内容	計画策定時(平成27年)における平成29年度必要量と確保数		平成28年度の実績 (平成29年3月末現在)	平成29年度の実績 (平成30年3月末現在)	平成30年度の実施予定及び今後の取り組み	担当課
			必要量	確保数				
地域子ども・子育て支援事業	5. 一時預かり事業 (幼稚園在園児以外による利用分、ファミリー・サポート・センター事業を含む)	◆市立保育所2所、こども園3園で実施するとともに、私立保育園2園および小規模保育事業所1か所で実施し、補助を行いました。	44,182人 (延べ数)	29,300人 (延べ数)	13,369人 (延べ数)	12,162人 (延べ数)	◆平成30年度より新たに私立保育園2か所(菊田みのり保育園、プレーメン津田沼保育園)で実施し、一時保育を拡大します。	こども保育課 (一時保育)
		◆ファミリー・サポート・センターの一時預かり事業として、こどもセンター4か所ときらっ子ルーム2か所の計6か所で実施し、併せて市ホームページ等で周知しました。また、こどもセンター(鷺沼)については、月2回の実施を週2回に拡大しました。		2,490人 (延べ数)	2,238人 (延べ数)	2,071人 (延べ数)	◆多様化する利用会員のニーズに応え、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。 ◆親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、会員の制度の理解と意識の向上を図ります。	子育て支援課 (ファミサポ)
	6. 利用者支援事業 (子育て支援コンシェルジュ)	◆こどもセンター(4カ所)及びきらっ子ルーム(2カ所)に加えこども部窓口の子育て支援コンシェルジュを設置し、相談の受付や、子育て支援情報の提供等を行いました。 相談件数:193件(実人数126人) 相談内容: 「保育所・幼稚園・こども園の入所・入園に関すること」39件・「子どもの身体面について」13件・「子どもの精神面について」11件・「子どもの栄養について」7件・「育児一般について」23件・「子どもに係る制度・サービスについて」19件・「家庭の問題について」36件・「その他」45件	7カ所	6カ所	6カ所	7カ所	◆市内の全てのこどもセンター・きらっ子ルームで引き続き実施し、常に最新の情報提供ができ、また、相談・関係機関につなげられるよう、研修等の充実を図ります。 ◆こども部窓口の子育て支援コンシェルジュが各施設へ出向き、相談を行う「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談しやすい環境づくりや関係機関との連携強化に努めてまいります。	子育て支援課
	7. 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	◆保護者の疾病、けが、育児疲れ、育児不安等、出産、看護、事故、災害、失踪等の事由により、家庭において一時的に児童を養育することが困難となった場合、これらの児童を市が委託契約した児童福祉施設において、一定期間養育・保護を行いました。 ◆子育て短期支援事業(ショートステイ)の情報提供を随時行い、利用につなげました。	96人 (延べ数)	96人 (延べ数)	16人 (延べ数)	5人 (延べ数)	◆引き続き保護者が疾病、疲労その他の身体上もしくは精神上または環境上の理由により、家庭において一時的に児童を養育することが困難となった場合、これらの児童を市が委託契約した児童福祉施設において、一定期間養育・保護を行います。	子育て支援課
	8. 乳児家庭全戸訪問事業	◆平成29年度 訪問対象家庭数 1,475件 実施率 97.4% ◆引き続き、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や養育環境等の把握を行いました。	1,390人(50人) ※()は対応職員数	1,390人(50人) ※()は対応職員数	1,527人(52人) ※()は対応職員数	1,436人(52人) ※()は対応職員数	◆引き続き、生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育てに関する情報提供や養育環境等の把握を行います。	健康支援課
	9. 養育支援訪問事業	◆養育困難な保護者や出産前後における支援が必要と認められる保護者に対し、積極的に訪問し、子育ての過重な負担がかかる前に相談員や保健師等が家庭を訪問し、子育て支援サービス等の情報提供等の専門的な指導を行い、保護者の安定した養育環境を整え、児童虐待の未然防止に努めました。	8人	8人	4人 47回(延べ数)	7人 42回(延べ数)	◆引き続き養育困難な家庭を積極的に訪問し、子育ての過重な負担がかかる前に相談員や保健師等が家庭を訪問し、子育て支援サービス等の情報提供等の専門的な指導を行い、保護者の安定した養育環境を整えることで、児童虐待の未然防止につなげます。	子育て支援課
	10. 病児保育事業	◆保育所等へ新規で入所する児童の保護者に対して、チラシやリーフレットの配布を行い、事業の周知を図りました。	2,858人 (延べ数)	2,858人 (延べ数)	1,500人 (延べ数)	1,294人 (延べ数)	◆赤松小児科内科医院「エンジェル保育室」の閉室及び津田沼中央総合病院「ケアルームつくしんぼ」の新規開室に対する市民への周知、円滑な移行・事業運営に努めてまいります。 ◆保育所等へ新規で入所する児童の保護者に対してチラシやリーフレットの配布により事業の周知を図り、子育てと仕事の両立を支援します。 ◆病児・病後児施設連絡会議を開催し、病児・病後児施設との情報共有・意見交換を実施します。	子育て支援課
	11. ファミリー・サポート・センター事業	◆利用会員の援助の申し込みに基づき、育児支援、家事支援、ショートステイについて、提供会員派遣のためのコーディネートを随時行いました。 ◆入会説明会を毎週水曜日(38回)、土日(5回)、地域ごと(5回)、個別訪問(随時)により実施しました。 ◆会員に対し、基礎研修会(4回)、研修会(3回)、交流会(2回)、談話室(2回)を開催しました。 ◆ファミリー・サポート・センターだより(年3回)を発行し、会員に対して送付しました。 ◆広報習志野に掲載し、事業の周知を図りました。	1,029人 (延べ数)	1,029人 (延べ数)	1,077人 (延べ数)	907人 (延べ数)	◆ひとり親家庭等の利用料助成制度について引き続き周知を図り、助成対象者の拡大に努めます。 ◆親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、会員の制度の理解と意識の向上を図ります。	子育て支援課
	12. 妊婦健康診査事業	◆妊婦の健康の保持増進を図るため、妊婦に対する健康診査として健康状態の把握、身体計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を行いました。	20,328人 (延べ数)	20,328人 (延べ数)	17,861回 (延べ数)	17,877回 (延べ数)	◆引き続き、妊婦の健康の保持増進を図るため、妊婦に対する健康診査として健康状態の把握、身体計測、保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を行います。	健康支援課